

菊池です。

予てからの念願であった斑尾山の隣りに位置する袴岳から妙高高原駅までのクラシックツアールートに行って来ました。

【山城】東頸城丘陵・袴岳

【日時】2015年3月14日(土):晴れのち曇り・小雪

朝・信濃町で-6℃

【メンバー】CL 菊池・N 夫妻:全員 TM

【行程】妙高高原駅近くの兼俣の除雪終了地点に車一台デポー赤沼手前除雪スペース(袴岳登山口:940m) 8:50-Nさん車のキーを私の車の中に置いてきたことに気づき戻る:約30分のロスー9:35 袴岳山頂(1135m)ー北・北西斜面滑走ー柏ヶ峠(970m)ー南西・西尾根ー一時ルートミス・修正ー西尾根に復帰ー旧ゲレンデー12:10 車デポ地(530m)ー車回収

・NBSCのメンバーから魚沼地区の2000m級ハードルートのお誘いも受けていたが、小生の体力不足など、また憧れのクラシックルートへの思いが強く、テレマーク向けの信越トレイルの一部、袴岳から妙高高原のツアーを選択した。

・2013年の3/20 赤沼近くのスタート地点から山頂を経て柏ヶ峠まで滑走、11月末に兼俣から林道・柏ヶ峠経由で山頂へ登山などの偵察山行を行いチャンスを狙っていたが、昨日は絶好のツアー日和とメンバーに恵まれ、念願が叶った。

・数日の多量の降雪と天候予想もあまりよくなく、下りラッセル・高温による悪雪などが懸念され、2日前に計画を中止したが、前日池の平で滑走・シール登高で状況を確かめたら、14日は何とか楽しめるだろうと判断し、急遽実行することとした。N夫妻は新幹線開業記念の千曲ハーフマラソンに15日参加予定であり、当初奥さんの参加希望はなかったが、絶好のツアー日和に恵まれ、誘惑に負け、当日急遽参加表明となった。

・ルートの地形から考え、もともとテレマーク向けルートであり、特に残雪期(3月中旬~4月初め頃)のザラメ期にステップソール・革靴などで楽しみたいと思っていたが、今回は予想外の前日の降雪で冷え込んだ朝はパフパフの快適なスタートであった。前回の新田山では小生がシールを忘れたが、今回はNさんが私の車の中にキーを置き忘れたことに小生が気づき、取りに戻った。約30分の時間ロスであったが、Nさんの素晴らしい脚力に痛手は少なかった。

・無風・快晴のため、早々と上着を脱いで薄着で山頂に向かった。袴岳頂上直下は南面の登り、陽光に雪質が悪化してきたが、素晴らしいブナ林の登りは気分最高であっ

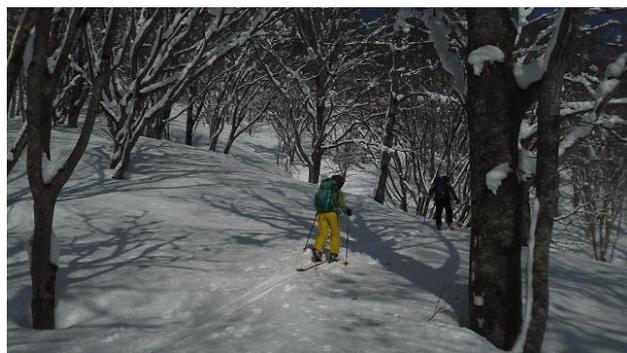
た。山頂からは飯縄山・戸隠・黒姫・妙高・上越の山々が一望でき、特に高田育ちの Nさんは妙高山の豪快な全貌を目の当たりにして、興奮気味であった。

・撮影・行動食休憩の後、いよいよ滑走である。前回滑走時はザラメ時期に入っており、山頂直下の北・北西斜面は日陰で硬い雪面にやや苦勞したが、今回は快適なパウダーラン、つい雄叫びも飛び出し、柏ヶ峠までの標高差 250m の中・急斜面はファット持参の威力を十分堪能できた。250m 滑走の後半は細尾根でうねりの少しある 25 度ほどの斜面であるが、雪質が良く、慎重に小刻みに止まり、気分よく峠に降り立った。

・峠からの南西ルート of 尾根に乗り、緩斜面を進む。平地もあるが、緩斜面でも日陰のため、湿雪でもまあまあの雪質が保たれ、快適ターンを暫く楽しめた。白樺林の素晴らしい地点で無我夢中に写真撮影しその後、やや急な斜面から進路を南西から西に向けるが、この地点で左方向に少し行きすぎルートミス、林道に出て様相が違うと思いながら少し進む、GPS でチェックすると、なんと東急ゴルフ場へと続く道であることが分かった。シールを貼って軌道修正し、間もなく西尾根に復活できた。

・湿雪で滑りが悪くなってきたが、なんとかリズムでゆっくりターンを刻みながら進むとしばらくして林道に到達、フィナーレ近くになり、斑尾—妙高高原登山道ルートの古い道標を発見、旧ゲレンデを下り、車のデポ地まで滑走して、独り占めの静かで楽しいクラシックルートツアーを終えた。

速報をちば山の会 HP の掲示板に掲載しました。



01 山頂直下の快適なブナ林登高



02 山頂からの妙高山



03 北西尾根のパウダーラン



04 ファットで安定滑走



05 西尾根には素晴らしい白樺林



06 湿雪で低速ターン



07 フィナーレ直前の古い道標



08 GPS ルート